奈良教育大学附属中学校

数学科公開研修会

参加費無料　対面/Zoom

中学校第２学年「図形の性質と合同」実践発表

三角形の合同条件を「覚える」から「納得して使う」へ

— オリジナル教具による操作と言葉の読み解きを取り入れた授業 —

2026年12月10日（木）13:30〜15:00

三角形の合同条件は「３つあるもの」として、当たり前のように使われていないでしょうか。「それぞれ」の抜けや「３組」と「３つ」の混同といった生徒のつまずきから、合同条件の意味に立ち返る２つの実践をご紹介します。

当日の流れ

13:30〜14:00　実践発表　発表者：山本達也（奈良教育大学附属中学校　数学科）

1　見つける　ストローで見つける三角形の合同条件

ストローと、３Dプリンターで作成したオリジナルの教具で三角形をつくり、三角形が一通りに決まる条件を自分たちで見いだします。

2　読む　「それぞれ」はなぜ必要か — 合同条件を読む

見つけた条件と教科書の言葉を比べ、「その間の」「それぞれ」の意味を読み解きます。英語圏の合同条件とも比べ、なぜこの３つなのかを考え直します。

14:10〜15:00　研究討議

指導助言： 奈良教育大学・近藤裕教授

対象　現職教員／現職大学教員／教職を志望する大学生

場所　奈良教育大学附属中学校　数学教室

参加方法　対面またはZoom（リモート参加も可能です）
開催日が近づきましたら、お申込みいただいた皆様にZoomの参加URLをお送りします。

奈良教育大学附属中学校　数学科

tel. 0742-26-1410

参加申し込みは右記QRコード
または本校HPより
お申し込みください